

線積分の演習

桂田 祐史

2006年12月7日 出題, 12月14日配布 (訂正版)

(繰り返しになるけれど) 線積分には、 $\int_C f ds$ というのと $\int_C \mathbf{f} \cdot d\mathbf{r}$ というのと 2 種類ある。前者については、この授業では、説明はする (した) が試験には多分出題しない¹。一方後者 ($\int_C \mathbf{f} \cdot d\mathbf{r}$) については、定義に基づいて (例えばこのプリントで説明してある程度の) 簡単な計算ができることは、単位を取得するための必要条件であるくらいに考えてもらいたい。

問 $f(x, y) = \begin{pmatrix} y \\ x^2 \end{pmatrix}$, $C_1: \mathbf{r} = \varphi(t) = \begin{pmatrix} t \\ t^{3/2} \end{pmatrix}$ ($0 \leq t \leq 1$), $C_2: \mathbf{r} = \psi(s) = \begin{pmatrix} s^2 \\ s^3 \end{pmatrix}$ ($0 \leq s \leq 1$) とするとき、定義に従って $\int_{C_1} \mathbf{f} \cdot d\mathbf{r}$, $\int_{C_2} \mathbf{f} \cdot d\mathbf{r}$ を求めよ。

解説 接線線積分の定義の式は、

$$\int_C \mathbf{f} \cdot d\mathbf{r} = \int_{\alpha}^{\beta} \mathbf{f}(\varphi(t)) \cdot \varphi'(t) dt$$

である (ただし C は $\mathbf{r} = \varphi(t)$ ($t \in [\alpha, \beta]$) であるとする)。これに「代入」するだけである。ただ諸君の解答を見ていておぼつかない人もいるので、一つの流れを提示しておく (本当は計算の仕方を固定する理由はないし、害もありうるのであるが、「臨機応変」なんて言っていると取っ掛かりがないだろうから)。

(i) $f(x, y)$ に $x = \varphi_1(t)$, $y = \varphi_2(t)$ を代入して、 t の関数 $\mathbf{f}(\varphi(t)) = \mathbf{f}(\varphi_1(t), \varphi_2(t))$ を得る。

(ii) $\varphi'(t) = \begin{pmatrix} \varphi_1'(t) \\ \varphi_2'(t) \end{pmatrix}$ を計算する。

(iii) 上の 2 つのベクトルの内積 $\mathbf{f}(\varphi(t)) \cdot \varphi'(t)$ を計算する。

(iv) t について α から β まで積分する。

解答 $\mathbf{f}(\varphi(t)) = \begin{pmatrix} t^{3/2} \\ t^2 \end{pmatrix}$, $\varphi'(t) = \begin{pmatrix} 1 \\ \frac{3}{2}t^{1/2} \end{pmatrix}$ であるから、

$$\mathbf{f}(\varphi(t)) \cdot \varphi'(t) = t^{3/2} \cdot 1 + t^2 \cdot \frac{3}{2}t^{1/2} = t^{3/2} + \frac{3}{2}t^{5/2}.$$

¹比較すると重要性がやや低いことと、計算が面倒になりがちで「自然な出題がしにくい」ことが理由である。

ゆえに

$$\int_{C_1} \mathbf{f} \cdot d\mathbf{r} = \int_0^1 \left(t^{3/2} + \frac{3}{2}t^{5/2} \right) dt = \left[\frac{2}{5}t^{5/2} + \frac{2}{7} \cdot \frac{3}{2}t^{7/2} \right]_0^1 = \frac{2}{5} + \frac{3}{7} = \frac{2 \cdot 7 + 3 \cdot 5}{35} = \frac{29}{35}.$$

一方、 $\mathbf{f}(\psi(s)) = \begin{pmatrix} s^3 \\ (s^2)^2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} s^3 \\ s^4 \end{pmatrix}$, $\psi'(s) = \begin{pmatrix} 2s \\ 3s^2 \end{pmatrix}$ であるから、

$$\mathbf{f}(\psi(s)) \cdot \psi'(s) = s^3 \cdot 2s + s^4 \cdot 3s^2 = 2s^4 + 3s^6.$$

ゆえに

$$\int_{C_2} \mathbf{f} \cdot d\mathbf{r} = \int_0^1 (2s^4 + 3s^6) ds = \left[\frac{2}{5}s^5 + \frac{3}{7}s^7 \right]_0^1 = \frac{2}{5} + \frac{3}{7} = \frac{2 \cdot 7 + 3 \cdot 5}{35} = \frac{29}{35}. \quad (\text{解答終了})$$

余談 曲線 C_1, C_2 は、パラメーターづけ (φ, ψ のこと) は異なるが、像 (図形としての曲線) と、向き (どこからスタートしてどこに向かうか) は一致するので、線積分の値は等しい:

$$\int_{C_1} \mathbf{f} \cdot d\mathbf{r} = \int_{C_2} \mathbf{f} \cdot d\mathbf{r}.$$

これは

$$I := \int_0^1 \left(t^{3/2} + \frac{3}{2}t^{5/2} \right) dt$$

において、 $t^{1/2} = s$ と置換積分することによっても証明できる。実際、 $t = s^2$, $dt = 2s ds$, $t = 0$ のとき $s = 0$, $t = 1$ のとき $s = 1$ であるから、

$$I = \int_0^1 \left(s^3 + \frac{3}{2}s^5 \right) \cdot 2s ds = \int_0^1 (2s^4 + 3s^6) ds$$

となる。